

施工段階における確認マニュアル

(農地関係)

平成31年4月

愛知県農林基盤局

1. 目的

このマニュアルは、**農林基盤局**（農地関係）所管の県営事業で実施する工事（以下、「工事」という。）に係る出来形（完成時に不可視となる部分）等について、請負者の測定結果等に基づき、監督員が立会により確認する方法（以下、「段階確認」という。）について規定する。

2. 実施方法

- (1) このマニュアルは、原則として、別紙に示す工種、確認内容に該当する工事を対象とする。
なお、必要に応じて、その他の重要な構造物で完成時に不可視となる部分がある工事についても対象とする。
- (2) 監督員は、段階確認の具体的な実施方法について事前に請負者と打合せを実施する。
- (3) 段階確認における出来形の合否は、次に示す管理基準により判断するものとする。
 - ア 土木工事にあつては、工事施工管理基準（愛知県**農林基盤局**農地関係）別表第1「直接測定による出来形管理」に記載のある管理基準。
 - イ 施設機械工事等にあつては、施設機械工事等施工管理基準（農林水産省農村振興局整備部設計課）「直接測定による出来形管理」及び「品質管理」に記載のある管理基準（判定基準値、許容値を含む）。
- (4) 段階確認結果において、監督員は管理基準値から外れたものを確認した場合は、請負者に対し施工方法の改善策を報告するよう指示する。また、規格値から外れたものを確認した場合は、請負者に手直し工事を指示するとともに、施工方法の改善策を報告するよう指示する。
なお、手直した箇所については再度確認するものとする。
- (5) 段階確認は、工事標準仕様書（農地関係）（愛知県**農林基盤局**）の規定に基づき行うものとする。

施工段階確認の工種、確認内容等

本表は、標準的な事例を示したものであり、工種、工事規模等により適宜判断して追加・削除する等して、当該工事に必要な施工段階確認を行うものとする。

なお、下表の「重点監督」は、低入札価格調査制度における調査対象工事とする。「一般監督」は「重点監督」以外の工事とする。

1. 土木工事

工種		確認内容	確認時期 (一般監督)	確認時期 (重点監督)
共通 工事	掘削	床付け状況、 基準高さ	初期床付け完了 段階	同左
		地質状況	地質変化時	同左
		(地盤支持力)	※地耐力を指定 した重要構造物 の場合	同左
	埋戻	締め固め状況 まき出し厚、仕上り厚	初期施工段階で 1箇所	500mにつき1箇所 以上、 500m未満は2箇所 また、箇所単位のもの については、適宜 測定する。
	石積み、コンクリートブロック積 み、石張工、コンクリートブロック張 (裏込め工含む)	厚さ	初期施工段階で 1箇所	200mにつき1箇所 以上、 200m未満は2箇所
	基礎杭打工、木杭、既製 コンクリート杭、鋼管杭、場所 打杭、深礎杭	基準高、偏心	1本目打設時、 (既成杭は試験杭 打設時)	200本につき1本以上 200本未満は2本
		支持力確認(指定した 場合)	試験杭打設時、 以降1回/10本	全数
	オープンケーソン	厚さ、幅、高さ、長さ	全構造物製作後 1箇所	全構造物製作後2箇所
		基準高、偏位	全構造物設置後 1箇所	全構造物設置後2箇所
	栗石基礎、砕石基礎、砂 基礎、均しコンクリート	幅、厚さ、高さ	初期施工段階で 1箇所	500mにつき1箇所 以上 500m未満は2箇所 また、箇所単位のもの については、適宜 測定する。
コンクリート付帯構造物、コンクリ ート基礎、コンクリート側溝、コン クリート管渠、横断構造物、コン クリート擁壁、その他上記 に準ずるもの	幅、厚さ、高さ	初期施工段階で 1箇所	200mにつき1箇所 以上 200m未満は2箇所 また、箇所単位のもの については、適宜 測定する。	

工種		確認内容	確認時期 (一般監督)	確認時期 (重点監督)	
共通事項	生コンクリート	圧縮強度試験(材令7日)	—	初期段階で1回 (製造工場立会)	
	鉄筋組立	かぶり、中心間隔	1スパン目鉄筋組立後以降、構造変更毎に1箇所	5スパンにつき1箇所以上 5スパン未満は2箇所	
	地盤改良	改良深、改良幅 混入材料の数量(残量)	初期施工段階で1箇所	2箇所以上	
	指定仮設工	指定事項	高さ、幅、長さ、深さ、数量等	設置完了時点で各工種代表1箇所	同左
		仮設道路	延長、幅	設置完了時点で1箇所	同左
	土留工	延長、規格、間隔	設置完了時点で1箇所以降、構造変更毎に1箇所	同左	
ほ場整備工事	表土扱い	厚さ	施工完了時点で1箇所	施工完了時点で1ha 当たりおおむね3箇所	
	基盤造成	基準高 (指定したとき)	施工完了時点で1箇所	施工完了時点で1ha 当たりおおむね3箇所	
農地造成工事	耕起深耕	耕起深	施工完了時点で1箇所	施工完了時点で1ha 当たりおおむね1箇所	
	土壌改良	pH測定 (指定したとき)	施工完了時点で1箇所	施工完了時点で10ha 当たりおおむね1箇所	
農道工事	路体・路床盛土	現場密度測定 締固め状況 まき出し厚、仕上り厚	初期施工段階で1箇所以降、構造変更毎に1箇所	500mにつき1箇所以上 500m未満は2箇所	
	路盤工	基準高、厚さ 現場密度測定	初期施工段階で1箇所以降、構造変更毎に1箇所	500mにつき1箇所以上 500m未満は2箇所	
	道路トンネル	支保工：間隔、幅	初期施工段階で1箇所以降、タイプ変更毎に1箇所	タイプ毎に2箇所以上	
		コンクリート覆工：巻厚 (インパット含む)	初期施工段階で1箇所以降、タイプ変更毎に1箇所	同一タイプ100mにつき1箇所以上、 100m未満は2箇所	

工種		確認内容	確認時期 (一般監督)	確認時期 (重点監督)
農道 工事	道路トンネル (NATM)	支保工：間隔、幅	初期施工段階で 1箇所 以降、タイプ変更 毎に1箇所	タイプ毎に2箇所以 上
		吹付コンクリート厚	初期施工段階で 1箇所 以降、タイプ変更 毎に1箇所	同一タイプ100mに つき1箇所以上、 100m未満は2箇所
		ロックボルト： 本数、径、長さ	初期施工段階で 1箇所 以降、タイプ変更 毎に1箇所	同一タイプ100mに つき1箇所以上、 100m未満は2箇所
		コンクリート覆工：巻厚 (インバート含む)	初期施工段階で 1箇所 以降、タイプ変更 毎に1箇所	同一タイプ100mに つき1箇所以上、 100m未満は2箇所
水路 トン ネル 工事	水路トンネル	支保工：間隔、幅	初期施工段階で 1箇所 以降、タイプ変更 毎に1箇所	同一タイプ100mに つき1箇所以上、 100m未満は2箇所
		コンクリート覆工：巻厚 (インバート含む)	初期施工段階で 1箇所 以降、タイプ変更 毎に1箇所	同一タイプ100mに つき1箇所以上、 100m未満は2箇所
水路 工事	現場打開水路	厚さ	1スパン目施工 段階で1箇所 以降、断面変更毎 に1箇所	同一断面10スパンに つき1箇所以上 10スパン未満は2箇 所
	現場打サイホン	厚さ	1スパン目施工 段階で1箇所 以降、断面変更毎 に1箇所	同一断面10スパンに つき1箇所以上 10スパン未満は2箇 所
	現場打暗渠	厚さ	1スパン目施工 段階で1箇所 以降、断面変更毎 に1箇所	同一断面10スパンに つき1箇所以上 10スパン未満は2箇 所
	コンクリート二次製品水路 (フリューム、ボックスカルバート、L 型水路等)	基準高	1スパン目施工 段階で1箇所 以降、断面変更毎 に1箇所	同一断面10スパンに つき1箇所以上 10スパン未満は2箇 所

工種		確認内容	確認時期 (一般監督)	確認時期 (重点監督)
河川 及び 排水 水路 工事	コンクリート法覆工 アスファルト法覆工	厚さ	初期施工段階で 1箇所	500mにつき1箇所 以上 500m未満は2箇所
	コンクリートブロック積み水路 鉄筋コンクリート柵渠	基準高	初期施工段階で 1箇所	100mにつき1箇所 以上 100m未満は2箇所
	ライニング水路 コンクリートマット	基準高、幅		
管水路 工事	管水路基礎 (砂基礎等)	高さ、幅 現場密度測定	初期施工段階で 1箇所	500mにつき1箇所 以上 500m未満は2箇所
	管水路 (コンクリート二次製品) RC管、PC管	基準高	初期施工段階で 1箇所	500mにつき1箇所 以上 500m未満は2箇所
	管水路 (ダクタイル鋳鉄管、強化プラスチック複合管)	基準高	初期施工段階で 1箇所	500mにつき1箇所 以上 500m未満は2箇所
	管水路 (硬質塩化ビニル管)	埋設深	初期施工段階で 1箇所	500mにつき1箇所 以上 500m未満は2箇所
	管水路 (鋼管)	基準高	初期施工段階で 1箇所	500mにつき1箇所 以上 500m未満は2箇所
		溶接部 (継手部塗装含む)	初期施工段階で 1箇所	50箇所につき1箇所 以上 50箇所未満は2箇所
	シールド工事(一次覆工) (コンクリートセグメント、鋼製セグメント) 推進工事	たわみ率 裏込注入材料の数量 (残量)	初期施工段階で 1箇所 以降、セグメントタイプ 変更毎に1箇所	同左
畑かん 施設 工事	スプリンクラー	埋設深	1基目設置段階	構造図の寸法表示箇所 を適宜測定する

工種		確認内容	確認時期 (一般監督)	確認時期 (重点監督)
橋梁下部工事	橋台工	厚さ、胸壁間距離、橋台沓部 (橋脚がある場合の胸壁間距離は、橋脚との中心間距離)	全橋台 各橋台施工完了時点	同左
	橋脚工 (張出式・重力式・半重力式)	基準高 橋脚中心間距離	全橋脚 各橋脚施工完了時点	同左
	橋脚工 (ラーメン式)	基準高 橋脚中心間距離	全橋脚 各橋脚施工完了時点	同左
法面保護工事	ラス張 植生マット 繊維ネット	アンカーピン数	植生基盤完了時点(吹付開始前)で1箇所 抽出1箇所(5m×5m)	1000㎡につき1箇所以上 1000㎡未満は2箇所
	客土吹付	厚さ	初期施工段階で1箇所 以降、タイプ変更毎に1箇所	2000㎡につき1箇所 2000㎡未満は2箇所
	植生基材吹付	厚さ	初期施工段階で1箇所 以降、タイプ変更毎に1箇所	1000㎡につき1箇所以上 1000㎡未満は2箇所
	コンクリート吹付 モルタル吹付	厚さ	初期施工段階で1箇所 以降、タイプ変更毎に1箇所	3000㎡につき1箇所以上 3000㎡未満は2箇所
暗渠排水工事	吸水渠	布設深、間隔	初期施工段階の1本で、その上下流端の2箇所 ただし、1本の布設延長が100m以上のときは中間点を加えた3箇所	10本につき1本で、その上下流端の2箇所 ただし、1本の布設延長が100m以上のときは中間点を加えた3箇所
	集水渠(支線) 導水渠(幹線)	布設深	初期施工段階で1箇所	500mにつき1箇所以上、500m未満は2箇所

工種		確認内容	確認時期 (一般監督)	確認時期 (重点監督)
フィルダム工事	監査廊 (暗渠タイプ)	幅、厚さ、高さ	初期施工段階で 1箇所	100mにつき1箇所以上 100m未満は2箇所
	堤体盛土	ゾーン幅 遮水ゾーン フィルターゾーン トランジションゾーン ロックゾーン	施工初期・中期・ 施工完了時点で 1箇所	施工初期・中期・ 施工完了時点で、 施工延長100mに つき1箇所以上 100m未満は2箇所
	洪水吐	幅、厚さ、高さ	初期施工段階で 1箇所	100mにつき1箇所以上 100m未満は2箇所
頭首工事	本体	不可視となる構造物 の厚さ(エプロン等)	初期施工段階で 1箇所 以降、構造変更毎 に1箇所	構造図の寸法表示 箇所を適宜測定す る
	護床ブロック (異形ブロック)	基準高	初期施工段階で 1箇所	500㎡につき1箇所 以上 500㎡未満は2箇所
海岸河川工事	捨石工 消波ブロック工	基準高 幅	初期施工段階で 1箇所	500mにつき1箇所 以上 500m未満は2箇所
ため池改修工事	堤体工	基準高 鋼土の幅 現場密度測定 現場透水試験	盛立高の1/2到達 時点で1箇所	盛立高の1/2到達 時点で、施工延長 20mにつき1箇所、 20m未満は2箇所
	洪水吐工	幅、厚さ、高さ	初期施工段階で 1箇所	1スパンにつき1 箇所
	樋管工	幅、厚さ、施工延長	初期施工段階で 1箇所	10mにつき1箇所、 10m未満は2箇所
地すべり対策工事	杭打工	深さ、間隔	初期施工段階で 1箇所	200本につき1本 以上 200本未満は2本

2. 施設機械工事等

(1) 施設機械工事等における施工段階確認の確認内容及び確認時期は、出来形確認にあつては施設機械工事等施工管理基準第2項「直接測定による出来形管理」の分類A、品質確認にあつては同基準第4項「品質管理」の分類Aによるものとする。

※A分類：監督員が原則として確認する項目
(設備の目的・構造・機能・性能を確認する項目)

※B分類：監督員が施工管理記録簿及び試験成績書等により確認できる項目
(その他の性能、構造上の取り合いを確保するために確認を必要とする項目)

(2) なお、「重点監督」の場合は次表に掲げる確認を前項と併せ実施するものとする。

工種	確認内容		確認時期 (重点監督)	
用排水ポンプ設備 (製作・据付)	フラップ弁	外形寸法、外観検査	出来形管理 工場製作時	
	ソールプレート及び 仮ライナー	中心線のズレ、高さの精度、水平度	出来形管理 現場据付時	
	主ポンプ	軸受温度測定、振動測定	品質管理	工場製作時
		回転速度	品質管理	工場製作時又は 現場据付時
	吐出弁	開閉時間(電動)、リミットスイッチの作動	品質管理	現場据付時
	主原動機用ディーゼル機関 ガスタービン	回転速度	品質管理	工場製作時又は 現場据付時
	主原動機用電動機	電流、電圧、 回転速度	品質管理	工場製作時又は 現場据付時
	自家用発電設備	電流、電圧、周波数、 回転速度	品質管理	工場製作時又は 現場据付時
	天井クレーン	横行、走行、 巻上速度	品質管理	現場据付時
河川・水路用水門設備 (製作)	(3方水密ローラーゲート)			
	扉体	主ローラ踏面からサイドローラまでの距離、吊金具中心とスキプレート間の距離	出来形管理	工場製作時
	戸当り	戸当り高さ	出来形管理	工場製作時
	(4方水密ローラーゲート)			
	扉体	主ローラ踏面からサイドローラまでの距離、吊金具中心とスキプレート間の距離	出来形管理	工場製作時
	戸当り	戸当り高さ、基準点对角長の差	出来形管理	工場製作時
	(シェル構造ローラーゲート)			
扉体	扉体の全幅、主ローラ踏面からサイドローラまでの距離、水密幅、吊金物中心距離、吊金物中心とスキプレート間の距離	出来形管理	工場製作時	

工種		確認内容		確認時期 (重点監督)
河川・水路用水門設備 (製作)	戸当り	底部戸当りの中心と主ローラーレール踏面の距離、全長、重構造物、軽構造物、取外し部	出来形管理	工場製作時
	(起伏ゲート)			
	扉体	扉体幅、ヒンジ軸間隔、ヒンジ軸・ローラー軸間隔	出来形管理	工場製作時
	戸当り	側部戸当り半径、側部戸当り弧長	出来形管理	工場製作時
	(開閉装置)			
	ワイヤーロープウインチ式	フレーム水平度 フレーム高低差	出来形管理	工場製作時
河川・水路用水門設備 (据付)	(3方水密ローラーゲート)			
	扉体	扉体の全幅、水密幅	出来形管理	現場据付時
	戸当り	主ローラとコントロール踏面間距離、底部戸当りの標高	出来形管理	現場据付時
	(4方水密ローラーゲート)			
	扉体	扉体の全幅、水密幅、側部水密高さ	出来形管理	現場据付時
	戸当り	底部戸当りの標高	出来形管理	現場据付時
	(シェル構造ローラーゲート)			
	扉体	扉体の全幅、水密幅、底部の曲がり	出来形管理	現場据付時
	戸当り	サイドローラレール間の距離、底部戸当りの中心と主ローラーレール踏面の距離、全長、重構造物、軽構造物、取り外し部、底部戸当りの平面度、非水圧側主ローラレール踏面板の真直度、底部戸当りの標高	出来形管理	現場据付時
	(起伏ゲート)			
扉体	扉体幅、ヒンジ軸間隔	出来形管理	現場据付時	
戸当り	底部戸当り全長、底部戸当り真直度、底部戸当り標高、側部戸当り据付距離	出来形管理	現場据付時	
開閉装置	油圧シリンダ設置標高	出来形管理	現場据付時	

工種		確認内容	確認時期 (重点監督)
河川・水路用水門設備 (据付)	(開閉装置)		
	ワイロープウインチ式	ドラムギヤ中心間距離、シーブ中心間距離、据付基準線からの上下流方向のずれ、据付基準点から左右方向のずれ、据付基準点から標高のずれ	出来形管理 現場据付時
		シーブの回転確認	品質管理 現場据付時
	スピンドル式	機械台長、機械台幅、機械台厚さ、スタント高	出来形管理 現場据付時
ゴム引布製起伏ゲート (据付)	取付金具	突出し長さ、取付ピッチ、河床幅方向据付、上下流間隔	出来形管理 現場据付時
	配管	給排気管の据付位置及びレベル 内圧検知管の据付位置及びレベル 導水管の据付位置及びレベル 排水用配管の据付位置及びレベル 気密性	出来形管理 現場据付時
	ゴム袋体	締付トルク、堰高のレベル	出来形管理 現場据付時
	操作機器	地下ピット機器 (導水管の位置及びレベル) (フロート(又はバケット)の据付レベル)	出来形管理 現場据付時
ダム用水門設備 (製作)	(クレストラジアルゲート)		
	扉体	シーブ中心間隔、サイトローラ間隔、水密ゴム間隔、脚柱取付部から端までの距離	出来形管理 工場製作時
	戸当り	側部戸当りの弧長、底部戸当り伸縮継手の位置	出来形管理 工場製作時
	アンカレッジ	ピン中心とトラニオンゲータ中心間の寸法	出来形管理 工場製作時
	(高圧ローラーゲート)		
扉体	主ローラ踏面からサイトローラまでの距離、吊り中心とスプレートの距離	出来形管理 工場製作時	
戸当り	戸当り高さ、対角長の差	出来形管理 工場製作時	

工種		確認内容		確認時期 (重点監督)	
ダム 用 水 門 設 備 (製 作)	(小容量放流ゲート・バルブ)				
	高圧スライトゲート(HPSG) ジェットフローゲート(JFG)	扉体幅、上流側ボルト穴 P.C.D	出来形管理	工場製作時	
	(小容量放流管)				
	放流管	管端面の傾き	出来形管理	工場製作時	
	トランジション管	対角長の差、管端面の傾き、補剛材の間隔	出来形管理	工場製作時	
	分岐管	管端面の傾き	出来形管理	工場製作時	
	(直線多段式ゲート)				
	扉体	主ロー踏面からサイドローの距離、主桁間隔、吊り中心とスキャンプレート間の距離、底部の曲がり	出来形管理	工場製作時	
	スクリーン	スクリーンパネル枠寸法、スクリーンバーのピッチ、通しボルトのピッチ、スクリーン受桁の外形寸法	出来形管理	工場製作時	
	(円形多段式ゲート)				
	扉体	ストップから扉体下端までの距離、底部の曲がり、取水盤呑口形状寸法、取水盤張出し外径	出来形管理	工場製作時	
	取水塔	支柱間隔	出来形管理	工場製作時	
	ダム 用 水 門 設 備 (据 付)	(クレストラジアルゲート)			
		扉体	トランオンピン間の水平距離、扉体幅	出来形管理	現場据付時
		(高圧ローラーゲート)			
扉体		対角長の差、水密幅、水密高	出来形管理	現場据付時	
戸当り		戸当り高さ、対角長の差	出来形管理	現場据付時	
(小容量放流ゲート・バルブ)					
高圧スライトゲート ジェットフローゲート		基準線、標高	出来形管理	現場据付時	
(小容量放流管)					
放流管	据付基準線からの距離、管標高	出来形管理	現場据付時		
分岐管	管標高	出来形管理	現場据付時		

工種		確認内容		確認時期 (重点監督)
ダム用水門設備	(直線多段式ゲート)			
	扉体	吊り中心間隔、吊り状態での扉体の傾き	出来形管理	現場据付時
	戸当り	戸当り高さ	出来形管理	現場据付時
	スクリーン	各スクリーンパネルの配置、スクリーン受桁の配置	出来形管理	現場据付時
(据付)	(円形多段式ゲート)			
	扉体	扉体高さ	出来形管理	現場据付時
	取水塔	ガイドローラール間隔、ガイドローラール高さ、塔頂の標高	出来形管理	現場据付時
除塵設備	(レーキ回動式)			
	本体	エプロン幅、受桁の間隔	出来形管理	工場製作時
	レーキ	奥行、爪長	出来形管理	工場製作時
	補助スクリーン	全高	出来形管理	工場製作時
	(ネット形回動式)			
	本体	ハウジングフレームの高さ、ハウジングフレームの高低差	出来形管理	工場製作時
		支持架台水平度	出来形管理	現場据付時
	(搬送設備)			
	水平コンベヤ 傾斜コンベヤ	スカート長、フレーム高、フレームの高低差	出来形管理	工場製作時
	(貯留設備)			
ホッパ	カバー高、カバー開口部	出来形管理	工場製作時	
	架台据付高	出来形管理	現場据付時	
鋼橋上部工	部材 (桁製作工)	フランジ幅、腹板高、腹板間隔、部材長	出来形管理	工場製作時
	仮組立	伸縮装置	出来形管理	工場製作時
	支承	据付高さ、可動支承の橋軸方向のずれ、支承中心間隔 (橋軸直角方向)、下沓の水平度 (橋軸方向、橋軸直角方向)、同一支承上の可動支承のずれの相対誤差	出来形管理	現場据付時
	床版コンクリート (床版)	幅	出来形管理	現場据付時
(製作・架設)	コンクリート舗装 アスファルト舗装	幅、延長	出来形管理	現場据付時

工種		確認内容		確認時期 (重点監督)
水管橋上部工 (製作・据付)	部材 (送水管)	主部材長、外径、外周長	出来形管理	工場製作時
	仮組立	軸心の曲がり	出来形管理	工場製作時
	支承	据付高さ、可動支承の橋軸方向のずれ、支承中心間隔 (橋軸直角方向)、下沓の水平度 (橋軸方向、橋軸直角方向)、同一支承線上の可動支承のずれの相対誤差	出来形管理	現場据付時
電気設備 (製作)	配電盤類 (1)高圧閉鎖配電盤 (2)低圧閉鎖配電盤 (3)高圧電動機盤 (4)コントロールセンタ (5)監視制御盤 (6)継電器盤 (7)操作盤	取付器具	出来形管理	工場製作時
	変圧器 (単体設置)	取付部品	出来形管理	工場製作時
		変圧比測定	品質管理	工場製作時
	直流電源装置 (整流器)	取付器具	出来形管理	工場製作時
	UPS電源装置 (インバータ、切替装置)	取付器具	出来形管理	工場製作時
	予備発電装置 (※1)ポンプ工事以外の電気設備工事の場合	取付部品	出来形管理	工場製作時
		電圧調整範囲試験	品質管理	工場製作時
発電機単体 (※1)	取付部品	出来形管理	工場製作時	
電気設備 (据付)	配電盤類 (1)高圧閉鎖配電盤 (2)低圧閉鎖配電盤 (3)高圧電動機盤 (4)コントロールセンタ (5)監視制御盤 (6)継電器盤 (7)操作盤	据付状態、外観状態	出来形管理	現場据付時
	変圧器 (単体設置)	据付状態、外観状態	出来形管理	現場据付時
	直流電源装置 (キュービクル形) 及びUPS電源装置	据付状態、外観状態	出来形管理	現場据付時
		電圧測定、電流測定	品質管理	現場据付時

工種		確認内容		確認時期 (重点監督)
電気設備 (据付)	予備発電装置 (発電機、ディーゼル機関)	据付状態、外観状態	出来形管理	現場据付時
		振動測定	品質管理	現場据付時
水管理 制御システム (製作)	情報処理設備 (1)データ処理装置 (2)補助記憶装置 (3)入出力処理装置 (4)表示記録端末装置 (5)プリンタ	外観構造	出来形管理	工場製作時
	監視操作設備 (1)操作卓 (2)監視盤 (グラフィックパネル、ミニグラフィックパネル) (3)大型表示装置 (4)警報表示盤	外観構造	出来形管理	工場製作時
	情報処理設備 (1)データ処理装置	単体試験 (データ収集、データ処理、表示・印字処理、制御、異常処理)	品質管理	工場製作時
	(2)補助記憶装置	単体試験 (READ/WRITE 試験)	品質管理	工場製作時
	(3)入出力処理装置	単体試験 (データ入出力、接点入出力、アナログ入出力、シリアル入出力)	品質管理	工場製作時
	(4)表示記録端末装置	単体試験 (キーボード操作機能[プリンタ]、印字機能[プリンタ]、キーボード操作機能[ディスプレイ]、表示機能[ディスプレイ])	品質管理	工場製作時
	(5)プリンタ	単体試験 (機能試験)	品質管理	工場製作時

工種		確認内容		確認時期 (重点監督)
水 管 理 制 御 シ ス テ ム (据 付)	情報処理設備 (1)データ処理装置 (2)補助記憶装置 (3)入出力処理装置 (4)表示記録端末装置 (5)プリンタ	据付外観	出来形管理	現場据付時
	監視操作設備 (1)操作卓 (2)監視盤(グラフィックパネル、ミグラフィックパネル) (3)大型表示装置 (4)警報表示盤	据付外観	出来形管理	現場据付時
	情報伝送設備 (1)テレメータ、テレメータ・テレコントロール装置(TM, TM・TC 装置) (2)網制御装置 (3)データ転送装置 (4)入出力中継装置 (5)対孫局中継装置 (6)孫局装置 (7)設定値制御装置	据付外観	出来形管理	現場据付時
	情報処理設備 (1)データ処理装置 (2)補助記憶装置 (3)入出力処理装置 (4)表示記録端末装置 (5)プリンタ	単体試験 (機能試験)	品質管理	現場据付時
	雨水テレメータ・放流警報設備(河川管理用) (1)放流警報装置 (2)サイレン装置 (3)拡声装置 (4)集音マイク (5)回転灯	単体試験 (機能試験)	品質管理	現場据付時